

新企業創出支援事業
(新企業創出支援事業会計)

1. 実施方針

(1) 達成目標

- ・新規創業件数 20件
- ・相談対応件数 700件

(2) 活動方針

① 新規創業の支援

平成25年度から始めた離島等県内各地域における取組の強化、女性起業家の創出促進という目標を継続し、県内全域で創業しやすい環境づくりを進めることにより、企業の継続的な創出・育成を図る。

② 相談対応

企業が抱える様々な課題に適切に対応できるよう職員の窓口対応能力の向上を図るとともに、企業が抱える課題の傾向・変化を把握し、専門的見地から各種課題に対応できるインストラクターや専門家の登録を積極的に行い、窓口対応のみにとどまらず職員が積極的に企業に出向くことにより相談しやすい環境づくりに努めていく。

2. 実施計画

創業・起業促進支援事業

【予算額 78,006千円】

＜創業・起業促進事業の主な事業＞

① セミナー開催事業

【予算額 1,930千円】

ア) ベンチャーサロン

ベンチャー企業・地場企業・行政等のメンバーによる異業種交流の場を設け、講演会や参加者の事業に関するプレゼンテーショ

ンなどを開催し、企業の成長や経営改善等に資する情報提供を行うとともに参加者間の交流を促進する。

・ベンチャーサロンの開催：15回（長崎・佐世保）

イ) 創業・起業関連セミナー

起業意欲の醸成・啓発を図るため、市町・商工会議所・商工会と連携を図りながら、創業・起業セミナーを県内各地で開催し、起業志向者の需要を掘り起こすとともに、創業・起業時の各種問題に対し助言・指導を行い創業件数の向上を図る。

・創業・起業セミナーの開催：10回（長崎・佐世保）

- ② NAGASAKI 起業家大学事業〔予算額 5,768千円〕
○起業予備群や創業期の経営者及び地場中小企業の新規事業企画担当者等を対象として、起業や新規事業推進のために必要な経営の基礎知識や事業計画の作成等についてセミナーを開催する。

○離島をはじめとした各地域での開催や、受講修了者へのフォローも実施する。

・開講予定コース：2コース

ベーシックコース：経営の基礎から事業計画の策定まで

起業家速成コース：起業の検討に必要な知識の習得

- ③ 投資先企業等フォローアップ事業〔予算額 17,581千円〕
○成長が期待できる小規模事業者や新事業に取り組む個人・地場中小企業に対して、インキュベーションマネージャーによる継続的な助言を行い、企業の成長や新事業（起業）の創出を促進する。

○大学等発ベンチャー及び元気ベンチャー創出支援事業の投資先企業に対し、公認会計士による会計調査、外部専門家委員会からの助言を参考にし、インキュベーションマネージャーが各企業の事業計画の進捗状況の把握に努めつつ適切な経営支援を引き続き行う。

＜経営支援の主な事業＞

- ① 相談窓口事業 [予算額 2,470千円]
○窓口相談担当のアドバイザーを配置し、中小企業の課題解決や事業計画作成等についての助言・指導などを行う。
- 相談の結果、財団インキュベーションマネージャーによる個別相談や財団支援メニューの活用を促し、円滑な問題解決、創業・新分野進出をサポートする。
- ② 専門家等派遣事業 [予算額 4,330千円]
○創業、経営、営業戦略、技術的課題などに関する専門的な相談に対して、財団に登録している外部専門家（中小企業診断士、税理士、会計士、弁理士、司法書士等）や企業インストラクター（専門的な技術やノウハウを有する県内大企業OB等）を派遣し、適切な診断・助言を行い企業の問題解決を図る。
- 企業が必要としている分野の専門知識を有する専門家等の発掘及び新規登録を行う。
- ・ 専門家派遣数：40回
 - ・ 企業インストラクター派遣数：120回